

平成 30 年度
阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会
阿 寒 地 域 部 会 ・ 摩 周 地 域 部 会
(合同開催)

議 事 次 第

日時：平成 30 年 6 月 22 日（金）13:30～15:30

場所：弟子屈町社会老人福祉センター大集会室

1. 開会

2. 議題

- (1) 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱の改正案について
- (2) 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会の開催予定について
- (3) 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトの中間評価について
- (4) その他

3. 閉会

－ 配付資料一覧 －

- 資料 1 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱（改正案）
- 資料 2 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会平成30年度開催スケジュール（案）
- 資料 3－1 国立公園満喫プロジェクト中間評価の流れ
- 資料 3－2 国立公園満喫プロジェクト有識者会議委員現地視察結果
- 資料 3－3 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2020の進捗状況
- 資料 3－4 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト中間評価（案）
- 参考資料 1 平成30年度阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会阿寒地域部会・摩周地域部会（第2回）議事概要
- 参考資料 2 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト利用のあり方に関する全体構想

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会 設置要綱（改正案）**（目的）**

第 1 条 国立公園の美しい自然を活かし、より上質な体験を提供することにより、世界水準の「ナショナルパーク」へと改革していく国立公園満喫プロジェクトを阿寒摩周国立公園において推進するための具体的なプログラム（以下「ステップアッププログラム 2020」という。）を策定し、実施していくことを目的に、関係機関の相互の連携を図るため、阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（協議事項）

第 2 条 協議会は、以下に掲げる事項を協議する。

- （１）阿寒摩周国立公園における国立公園満喫プロジェクトの推進に関する事項
- （２）「ステップアッププログラム 2020」の策定及び実施に関する事項。
- （３）その他、第 2 条の目的を達成するために必要と認められる事項。

（構成員）

第 3 条 協議会は、別表 1 に掲げる関係機関等をもって構成する。

2 協議会は、必要に応じアドバイザーを招集することができる。

（会議）

第 4 条 会議は、必要に応じて事務局が招集する。

2 議事は、事務局において進行する。

（阿寒地域部会及び摩周地域部会）

第 5 条 阿寒摩周国立公園の地域ごとの具体的な事項を検討するため、阿寒地域部会及び摩周地域部会を設置する。

2 阿寒地域部会及び摩周地域部会は、それぞれ別表 2－1 及び別表 2－2 に掲げる者で組織する。

3 阿寒地域部会及び摩周地域部会では、それぞれの地域における「ステップアッププログラム 2020」の検討及び推進に関する事項を所掌する。

（事務局）

第 6 条 協議会及び各地域部会の事務局は、それぞれ以下に置く。

- （１）協議会 北海道環境生活部及び環境省阿寒摩周国立公園管理事務所
- （２）阿寒地域部会 北海道釧路総合振興局及び環境省阿寒摩周国立公園管理事務所
- （３）摩周地域部会 北海道釧路総合振興局及び環境省阿寒摩周国立公園管理事務所

（その他）

第 7 条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 この要綱は、平成 28 年 9 月 13 日から施行する。

附 則 この要領は、平成 30 年 3 月 30 日から施行する。

附 則 この要綱は、平成 年 月 日から施行する。

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会構成員

団 体 名	職 名
環境省釧路自然環境事務所	所長
国土交通省北海道開発局	開発監理部 開発連携推進課長
国土交通省北海道開発局	釧路開発建設部長
国土交通省北海道運輸局	観光部長
林野庁北海道森林管理局	計画保全部長
経済産業省北海道経済産業局	地域経済部長
北海道釧路総合振興局	局長
北海道環境生活部環境局	生物多様性担当局長
北海道経済部観光局	観光局長
釧路市	市長
美幌町	町長
津別町	町長
清里町	町長
小清水町	町長
大空町	町長
足寄町	町長
標茶町	町長
弟子屈町	町長
白糠町	町長
中標津町	町長
(公社)北海道観光振興機構	会長
阿寒摩周国立公園広域観光協議会	会長
(特非)阿寒観光協会まちづくり推進機構	理事長
(一社)摩周湖観光協会	会長
(一財)前田一步園財団	理事長
(一財)自然公園財団阿寒湖支部	所長
(一財)自然公園財団川湯支部	所長

阿寒地域部会構成員

団 体 名	職 名
環境省阿寒摩周国立公園管理事務所	所長
国土交通省北海道開発局	開発連携推進課 開発企画官
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	次長
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	次長
国土交通省北海道運輸局釧路運輸支局	首席運輸企画専門官
林野庁北海道森林管理局根釧西部森林管理署	署長
経済産業省北海道経済産業局	地域経済部 情報・サービス政策課長
北海道釧路総合振興局	くらし・子育て担当部長
北海道釧路総合振興局	産業振興部長
北海道十勝総合振興局	保健環境部 環境生活課長
北海道環境生活部環境局	生物多様性保全課 自然公園担当課長
釧路市産業振興部	観光振興監
釧路市総合政策部都市計画課	課長
足寄町経済課	課長
白糠町経済課	課長
(公社)北海道観光振興機構	観光開発支援グループ担当部長
(特非)阿寒観光協会まちづくり推進機構	専務理事
(特非)あしよろ観光協会	事務局長
(一財)前田一步園財団	常務理事
(一財)自然公園財団阿寒湖支部	所長
阿寒湖温泉地区景観協議会	会長
阿寒アイヌ工芸協同組合	代表理事

摩周地域部会構成員

団 体 名	職 名
環境省阿寒摩周国立公園管理事務所	所長
国土交通省北海道開発局	開発連携推進課 開発企画官
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	次長
国土交通省北海道開発局釧路開発建設部	次長
国土交通省北海道運輸局釧路運輸支局	首席運輸企画専門官
林野庁北海道森林管理局根釧西部森林管理署	署長
経済産業省北海道経済産業局	地域経済部 情報・サービス政策課長
北海道釧路総合振興局	くらし・子育て担当部長
北海道釧路総合振興局	産業振興部長
北海道オホーツク総合振興局	保健環境部 環境生活課長
北海道根室振興局	保健環境部 環境生活課長
北海道環境生活部環境局	生物多様性保全課 自然公園担当課長
美幌町経済部商工観光グループ	観光主幹
清里町企画政策課	課長
小清水町産業課	課長
大空町地域振興課	主幹
標茶町観光商工課	課長
弟子屈町観光商工課	課長
弟子屈町環境生活課	課長
中標津町経済振興課	課長
津別町産業振興課	主幹
(公社)北海道観光振興機構	観光開発支援グループ担当部長
(一社)摩周湖観光協会	副会長
美幌観光物産協会	事務局長
(特非)きよさと観光協会	事務局長
(一社)小清水町観光協会	事務局長
(特非)オホーツク大空町観光協会	事務局長
標茶町観光協会	事務局長
(一社)なかしべつ観光協会	専務理事
津別観光協会	事務局長
阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会	会長
(一財)自然公園財団川湯支部	所長

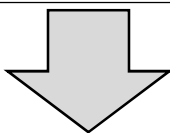
阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会 平成30年度 開催スケジュール（案）

平成 30 年 6 月 22 日

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会 阿寒地域・摩周地域部会合同開催（第 1 回）

- ・ 設置要項の改正（組織再編等）
- ・ 阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトの中間評価 について議論

開催地 … 弟子屈町社会老人福祉センター

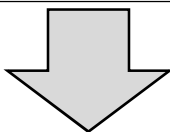


平成 30 年 8 月～9 月

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会 阿寒地域・摩周地域部会合同開催（第 2 回）

- ・ 国立公園満喫プロジェクト中間評価
- ・ 進捗状況の確認及び今年度の取組状況の中間とりまとめ
- ・ ステップアッププログラムの改定（必要に応じて） について議論

開催地 … 釧路市 阿寒湖温泉周辺



平成 30 年 12 月～平成 31 年 1 月

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会

- ・ 設置要綱の改正
- ・ ステップアッププログラムの改定（必要に応じて）
- ・ 今年度の取組状況の報告
- ・ 来年度の更なる取組等 について議論

開催地 … 弟子屈町内



国立公園満喫プロジェクト 中間評価の流れについて

1. 中間評価の狙い

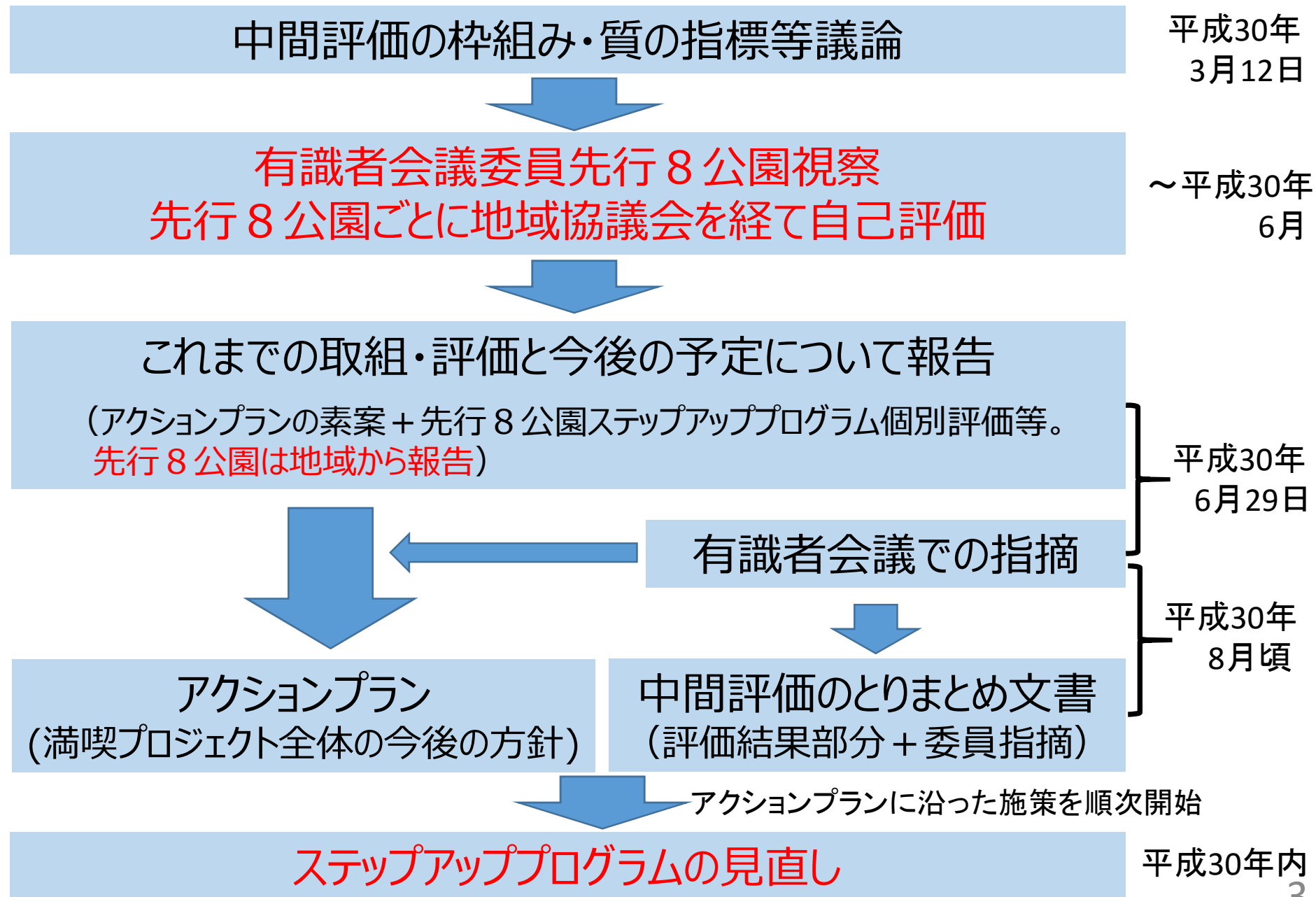
(1) 中間評価結果を踏まえアクションプランを策定

- これまでの取組や有識者からの指摘（＝中間評価）を踏まえて、満喫プロジェクトの推進における今後の方針を整理。
- 公共施設の民間開放、プロモーションなどの施策単位で指標を設定し、2020年1000万人目標から逆算した満喫プロジェクト全体のアクションプランを夏に策定。

(2) 各公園での取組のさらなる推進

- 先行8公園について、良い取組、強化・改善すべき取組を有識者からアドバイスいただき、各公園に対してフィードバック。
- 中間評価の結果を踏まえて、各公園でステップアッププログラムを改訂

2. 中間評価の流れ



3. 中間評価に使う指標と目標

	全公園	先行8公園 全体	先行8公園 ごと
(1) 訪日外国人国立公園利用者数	○	○	○
490万人(2015年) → 1000万人(2020年目標)	訪日外国人 消費動向調査	訪日外国人 消費動向調査	訪日外国人 消費動向調査
質の指標 ※ 値を継続的に把握。			
1) 国立公園での訪日外国人旅行消費額		△	△
		国立公園 訪問者アンケート	国立公園 訪問者アンケート
2) 国立公園周辺外国人延べ宿泊者数		△	△
		国立公園 訪問者アンケート	国立公園 訪問者アンケート
3) 国立公園での外国人リピーター率		△	△
		国立公園 訪問者アンケート	国立公園 訪問者アンケート
4) 先行8公園での満足度		△	△
		国立公園 訪問者アンケート	国立公園 訪問者アンケート

△…今後、調査精度を上げていくことが必要

4. 中間評価のための資料構成

- (1) 国立公園満喫プロジェクトの今後の方向性
- (2) 国立公園満喫プロジェクトの指標と目標
- (3) 国立公園満喫プロジェクトの枠組み
- (4) 全国的な取組と主要な取組
- (5) 地域主導の取組（先行8公園個別の取組）
- (6) 地域主導の取組（+3公園個別の取組）
- (7) モバイルアンケートによる評価

5. 「(4)全国的な取組と主要な取組」の構成案と対応する評価指標

構成案		個別指標例
1) 質の指標開発		取得サンプル数（1公園当たり） モバイルアンケートの結果を踏まえた改善事例
2) 関係省庁との連携		満喫Pに関係する各省庁の交付金活用実績 満喫Pに関係する各省庁事業実績 国際観光旅客税(仮称)による事業実績
3) 民間活用によるサービス向上		
	① 多様な宿泊環境の提供	4つ星以上の宿泊施設数、国立公園内グランピング事業者数
	② 公共施設の民間開放	先行8公園VC来訪者数、先行8公園利用者満足度
4) 受入環境の整備		
	① コンテンツの磨き上げ・受入体制強化	磨き上げたコンテンツ数、お勧めモデルコース数、ツアーデスクの設置数
	② 引き算の景観改善	廃屋撤去を実施できた地区数
	③ 基盤整備	先行8公園VC多言語化改修率、先行8公園トイレ洋式化率
	④ 人材育成	育成支援地域数（集合研修参加地域数）
	⑤ 利用者負担による保全の仕組み作り	利用者負担金額 入域料等の新規の仕組みの実施数
5) プロモーション		国立公園公式Facebook フォロワー/いいね!数 国立公園公式Facebook フォロワーに占める外国人ユーザーの割合 国立公園ポータルサイトウェブサイトPV数
6) 体制強化		現地レンジャー数、増員による成果事例

国立公園満喫プロジェクト有識者会議委員視察結果について

1. 委員名

デービッド・アトキンソン委員（小西美術工藝社代表取締役社長）

2. 視察日

平成30年6月6日（水）～7日（木）

3. 行程

■ 1日目

釧路空港

概要説明（環境省阿寒湖管理官事務所）

阿寒湖畔エコミュージアムセンター、ボツケ遊歩道

アイヌコタン、白湯山（展望台、遊歩道）、オンネトー（展望デッキ、野営場）

意見交換会（阿寒湖まりむ館）

■ 2日目

摩周湖第1・第3展望台

概要説明（環境省阿寒摩周国立公園管理事務所）

川湯エコミュージアムセンター

つつじヶ原遊歩道（イソツツジテラス）、硫黄山（園地、レストハウス）、川湯温泉街

和琴半島（野営場）、美幌峠（園地、レストハウス）

意見交換会（川湯ふるさと館）

4. 主な指摘事項

- ・解説板やパンフレット等の英語表記に間違いが多く、内容が不十分。英語はネイティブにはかなわない。書き物は完璧なものにすべき【全般】
- ・利用者目線に立った情報提供、利用動線を整理すべき【阿寒湖畔、川湯】
- ・ベンチの数が不足、あったとしても景色を楽しめる方向に向いていない【ボツケ、白湯山、摩周湖、つつじヶ原、美幌峠園地】
- ・解説板の整備に際しては景観への配慮が必要【白湯山】
- ・野営場施設のレベルアップが必要【オンネトー】
- ・道路からの誘導を含め、利用に関する総合的な案内が必要【摩周湖】
- ・分かりやすいストーリー仕立ての解説板の整備【川湯、つつじヶ原、】
- ・阿寒摩周国立公園ではアドベンチャーツーリズムが重要。
- ・北海道の風景は欧州の風景と大きな違いはなくそれほど魅力的ではない。動物、植物、バードウォッチング、フィッシング、アイヌ文化等と組み合わせるべき。
- ・観光地は作るもの。どいう商品に作り上げていくかを考えることが観光戦略。発信だけでは無駄。むしろ発信は勝手にやってくれる時代

- ・日本を含め、その先進国も体験したことがない人口減少に直面する。観光戦略は死活問題であり、命がけでやっていかなければならない。不十分な多言語対応は失礼に当たる。真剣に検討すべき

【視察状況写真】



＜阿寒湖畔エコミュージアムセンター＞



＜ボッケ遊歩道＞



＜オンネトー野営場＞



＜摩周湖第1展望台＞



＜意見交換会（阿寒湖畔）＞



＜意見交換会（川湯）＞

阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム 各取組の進捗状況等について

＜アクセスルート＞						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
2017（平成29）年度までに、主要交通拠点の釧路空港において、阿寒摩周国立公園に誘導するための多言語に対応した案内板の設置等を行う。	環境省	●	●			
2018（平成30）年度までに、主要交通拠点の女満別空港及び中標津空港において、阿寒摩周国立公園に誘導するための多言語に対応した案内板の検討・設置等を行う。	環境省		●	●		
2020（平成32）年度までに、アクセスルート上の阿寒摩周国立公園の入口に、エントランス標識等を設置する。	環境省		●	●	●	●
阿寒摩周国立公園（仮称）への名称変更後、アクセスルート上の公園入口に設置されている標識の公園名称修正を行う。	国土交通省		●			
2020（平成32）年度までに、道の駅「阿寒丹頂の里」において、多言語に対応した解説看板やサイン類の整備等を行う。	釧路市		●	●	●	●
2020（平成32）年度までに、主要交通拠点の3つの空港（釧路空港、女満別空港、中標津空港）及び新千歳空港からの二次交通の充実をはじめとした誘導策等を検討し、その結果を踏まえ充実を図る。	国土交通省、北海道、阿寒摩周国立公園広域観光協議会		●	●	●	●
2020（平成32）年度までに、阿寒摩周国立公園内外のアクセス強化を図るため、新千歳空港～オンネトー～阿寒湖温泉～J R摩周駅～中標津空港、釧路空港～阿寒湖温泉～女満別空港、女満別空港～美幌峠～J R摩周駅～中標津空港間における二次交通のアクセス強化に向けた検討を進める。	国土交通省、北海道、阿寒摩周国立公園広域観光協議会		●	●	●	●
阿寒摩周国立公園の阿寒地域と摩周地域を結ぶ「阿寒横断道路」は、国立公園の利用上重要なルートであるため、ルート上にある双湖台・双岳台の展望地を含め、引き続き国立公園内の道路として良好な景観の確保を図る。	国土交通省	●	●	●	●	●

＜各ビューポイントを含めた広域＞						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
ステップアッププログラムが阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトを進める上でのマスタープランとして機能するよう、定期的に各プロジェクトの進捗状況を把握し、考え方の整理や内容の充実等を図っていく。	阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会	●	●	●	●	●
2017（平成29）年度までに、阿寒国立公園の名称を「阿寒摩周国立公園（仮称）」に変更する。	環境省	●	●			
2020（平成32）年度までに、国立公園内及び周辺観光地も含めた広域的な視点での長期滞在の促進を目的として、それぞれの地域の特色や魅力を生かしたロングトレイルやサイクリングロードの設定等について検討し、その結果を踏まえ設定等を進める。	環境省、国土交通省、林野庁、北海道、阿寒摩周国立公園広域観光協議会		●	●	●	●
多言語に対応した解説看板や標識等については、関係者相互に連携を図り、阿寒摩周国立公園の特色を踏まえつつ統一的なデザインとなるような整備等を行う。	阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会	●	●	●	●	●
施設の整備等を行う際には、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえつつ、施設の目的や設置場所、想定される利用形態等に応じて対応する。	阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会	●	●	●	●	●
国立公園区域外の利用拠点や観光資源も含めたツアーの造成や効果的なPRを行う等、地域一体となった取組を進める。	阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会			●	●	●

<阿寒湖>									
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	進捗状況及び今後の予定	
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用									
a)公共施設等の民間開放	2017（平成29）年度までに、阿寒湖畔エコミュージアムセンターにおけるツアーデスクの併設など民間開放のあり方を検討する。	環境省	●	●				・センター内の暖炉スペースの家具等をリニューアルし、ゆったりとくつろげる空間を創出（2017（平成29）年3月）。 ・現在、館内でのコーヒーの提供方法等について検討中。	
b)上質な宿泊施設の誘致	2020（平成32）年度までに、利用者の幅を広げるため、地域合意を得ながら富裕層層をターゲットとした宿泊施設の誘致及び同施設への利用者の受入れ環境整備について検討を進める。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構	●	●	●	●	●	・ATTA（※1）との緊密な連携の下にアドベンチャーツーリズム（AT）を基盤にした富裕層の誘致を情報収集、情報交換等を継続して実施中。国際的な山岳スキーリゾートにふさわしい、富裕層向けリゾート宿泊施設の実現に向け、世界ブランドのホテル誘致を引き続き継続。（阿寒観光協会まちづくり推進機構） ※1 Adventure Travel Trade Association の略 世界最大級のアドベンチャー・トラベル・サミットを主催する、1000会員を有するアドベンチャーツーリズムに関連する機関。	
c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017（平成29）年度までに、阿寒湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●				・2018（平成30）年2月に、阿寒摩周国立公園（全体、各ビューポイント）における利用のあり方に関する全体構想をとりまとめ。	
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラム（阿寒湖のマリモ観察ガイドツアー、大島へのカヌーツアー、桟橋の活用等を含めた湖上クルーズの魅力向上プログラム、阿寒湖温泉街のまち歩きによる魅力向上プログラム等）の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。	阿寒観光協会まちづくり推進機構、前田一步園財団、自然公園財団、阿寒湖支部、経済産業省			●	●	●	・「マリモ観察ガイドツアー」「白湯山トレッキングツアー」「湖北地域のトレッキングツアー」等、アドベンチャーツーリズムの推進として海外、特に欧米諸国の観光客をターゲットとした利用プログラムの具体的なツアー内容、実施方法、料金、販売方法を検討中。（阿寒観光協会まちづくり推進機構） ・阿寒湖畔の森林におけるアイヌの神話等をテーマとするデジタルアート（夜の森を舞台とした体験型テーマパーク）について、2019（平成31）年度の実現に向けコンセプト、費用、運営体制等を構築中（阿寒観光協会まちづくり推進機構） ・上記を持続的・自主的に運営する民間組織（阿寒アドベンチャーツーリズム株式会社）を2018（平成30）年4月に設立予定。（阿寒観光協会まちづくり推進機構） ・「白湯山トレッキングツアー」「湖北地域のトレッキングツアー」2018（平成30）年冬、「夜の森を舞台とした体験型テーマパーク」2019（平成31）年夏等、順次スタートに向け準備中。ガイドの外国人対応等スキルアップについてATTAと連携した研修を予定。（阿寒観光協会まちづくり推進機構） ・前田一步園財団の管理森林内の指定ガイド（森の案内人）の新たな認定については、これまで、視察研修や安全対策研修などを実施し、新たに7名を2018（平成30）年1月25日に認定したところ。引き続き、参考となる取組を実施している地域の視察など、ガイド内容の充実・向上に向けた取組をサポートする予定。（前田一步園財団） ・アドベンチャーツーリズムの市場獲得のため、地域の事業者等と連携し、ATガイド育成と高付加価値体験ツアー（パイロット版）造成を支援。（経済産業省）	
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、利用者にアイヌ文化への関心や理解を深めてもらうため、アイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム等の開発・実施を図る。	経済産業省、阿寒観光協会まちづくり推進機構、阿寒アイヌ工芸協同組合			●	●	●	・「阿寒バロコプロジェクト」として、ガイドツアー等の体験コンテンツ開発、アイヌコタン・商店街空き店舗・ホテルロビー等のまちなかギャラリー設置、阿寒湖流接寄街「阿寒湖バロコスタイル」展開、制服などの衣装に使えるアイヌ文様をモチーフとしたデザイン開発、おもてなし傘の制作等を実施中。（阿寒観光協会まちづくり推進機構） ・「アイヌブランド化戦略」を2017（平成29）年度に策定。ステップアッププログラム2020、全体構想を踏まえながらガイドツアー等の体験コンテンツ開発等を進める。（阿寒観光協会まちづくり推進機構） ・阿寒湖アイヌコタンではアイヌ文化を活用したツアープログラムの企画開発を実施中。 ・ユーカラ街道としてアイヌ文化広域周遊ツアーの実施を検討中。広域との連携を取りつつ、具体的な提供プログラムの検討を開始。 ・阿寒湖温泉内のアイヌシアター「イコロ」におけるアイヌ舞踊と融合したデジタルコンテンツを創出し、商店街「アイヌコタン」の活性化を図る取組を支援。（経済産業省）	
d)利用料等の公園管理への活用	2020（平成32）年度までに、阿寒湖畔における駐車場利用に係る協力金について、阿寒湖畔の魅力向上のための用途等を検討する。	自然公園財団、阿寒湖支部		●	●	●	●	・2017（平成29）年度中に、阿寒湖畔園地、ボック遊歩道等を中心にフットライトの整備を実施。また、次年度、既存施設（料金所、柵等）の老朽化対策も実施予定。	
イ) まちなみ等の景観改善	2020（平成32）年度までに、アイヌコタンの魅力向上を含めた阿寒湖温泉街におけるまちなみ景観の改善手法（景観に関する地域のルールづくり等）を検討し、その結果を踏まえ改善を進める。	釧路市、阿寒湖温泉地区景観協議会、阿寒観光協会まちづくり推進機構、前田一步園財団、阿寒アイヌ工芸協同組合	●	●	●	●	●	・阿寒湖温泉地区景観協議会において、温泉街の景観改善（サイン、看板、ベンチ等の再塗装）を2017(平成29)年度も実施した。 ・観光庁とも連携し、商店街におけるシャッターアート等、アイヌ文化を基調とした景観づくりである「アイヌアートまちなかミュージアム」を推進中。 ・阿寒湖温泉地区のまちなみをアイヌ文化を活用した「異日常」のおもてなし空間づくりを進める取組を実施中。 ・阿寒湖温泉におけるアイヌ文様等の使用について、商店等を対象とした冊子「アイヌ文化を活かした景観デザインの手引き」（2018（平成30）年3月策定）を踏まえ、まちなみ景観の改善を進める。 ・「アイヌ・ブランド化プロジェクト」として、アイヌコタンを中心とした歴史文化ゾーンの整備、アイヌアートのまちづくり、アイヌ文化を基調としたプロダクト開発等を実施中。（阿寒観光協会まちづくり推進機構） ・「アイヌブランド化戦略」を2017（平成29）年度に策定。ステップアッププログラム2020、全体構想を踏まえながらアイヌコタンの魅力向上を含めた阿寒湖温泉街におけるまちなみ景観の改善手法（景観に関する地域のルールづくり等）を検討し、その結果を踏まえ改善を進める。（阿寒観光協会まちづくり推進機構）	
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2017（平成29）年度までに、阿寒湖畔集団施設地区における既存の整備関連計画の見直しを行い、新たな整備基本計画としてとりまとめる。	環境省	●	●				・2018（平成30）年3月に、阿寒湖畔集団施設地区における整備基本計画をとりまとめ。	

	2020（平成32）年度までに、以上の整備基本計画に基づき、阿寒湖畔園地内の歩道の再整備、新たな魅力地点につなぐ歩道（阿寒湖畔滝口線）の新設、阿寒湖畔エコミュージアムセンターの再整備、ICTを用いた多言語に対応した解説板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●	●	・阿寒湖畔園地内のボック遊歩道については、2017（平成29）年度に再整備完了。 ・新たな魅力地点につなぐ歩道（阿寒湖畔滝口線）については、2016（平成28）年度に自然公園法に基づく公園事業の決定を実施。2017（平成29）年度は、環境調査を実施し、さらに基本計画を策定。2018（平成30）年度は、基本設計を実施予定。 ・阿寒湖畔エコミュージアムセンターについては、2017（平成29）年度に水槽展示を改修し、プロジェクター等映像設備を導入。2018（平成30年）は一部展示を多言語化する予定。 ・2017（平成29）年度に、阿寒湖畔園地の公衆トイレの再整備等を完了。
	2017（平成29）年度までに、阿寒湖畔集団施設地区の公衆トイレの改修等や阿寒湖畔野営場の再整備等を行う。	北海道	●	●				・2017（平成29）年度に、阿寒湖畔第一駐車場及び阿寒湖畔野営場について、公衆トイレの再整備等を実施。
	2017（平成29）年度までに、雌阿寒岳登山線（白湯山）の再整備等を行う。	北海道	●	●				・2017（平成29）年度に、安全対策及び多言語対応標識の整備を実施。
	2020（平成32）年度までに、白湯山展望台の再整備等について検討を進める。	釧路市				●	●	・再整備に向けた情報収集等を実施中。
	2020（平成32）年度までに、阿寒湖温泉街の玄関口となるフォレストガーデンの整備を進め、駐車場等の一部供用を開始する。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構	●	●	●	●	●	・2017（平成29）年度よりフォレストガーデン第1期工事（駐車場整備工事）に着工し、2018（平成30）年夏頃より一部供用開始する予定。 （阿寒観光協会まちづくり推進機構）
	2020（平成32）年度までに、アイヌ文化発信拠点としての阿寒湖アイヌシアターイコロや、仮称アイヌアートミュージアム等（既存施設の活用を含めて検討）を活用した、阿寒湖アイヌコタンにおける「歴史文化交流ゾーン」の形成について検討を進める。	内閣官房、環境省、北海道、釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構等		●	●	●	●	・観光庁とも連携し、商店街におけるシャッターアート等、アイヌ文化を基調とした景観づくりである「街中アイヌアート」を推進中。（再掲） ・阿寒湖温泉地区のまちなみをアイヌ文化を活用した「興日常」のおもてなし空間づくりを進める取組を実施中。（再掲） ・「アイヌブランド化戦略」を2017（平成29）年度に策定。ステップアッププログラム2020、全体構想を踏まえながら、阿寒湖アイヌコタンにおける「歴史文化交流ゾーン」の形成を進める。（阿寒観光協会まちづくり推進機構）
	2020（平成32）年度までに、阿寒湖畔スキー場のコース拡張や夏季利用の推進、眺望の優れた場所へのカフェの誘致、ユニバーサルデザインの視点に立った整備など、魅力向上に向けた検討を進める。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構		●	●	●	●	・白湯山においては、2017（平成29）年中に木道の修理が完了することから、阿寒湖温泉で最もポピュラーな気軽でかつ世界的にも評価の高いトレッキングコースとして発信。スキー場の夏季利用を含めた各種施設のレベルアップを実現していく。 ・白湯山麓及びその周辺エリアをアドベンチャーツーリズム振興の拠点として活用できるよう具体的な活用方法等検討中。（阿寒観光協会まちづくり推進機構）
	2020（平成32）年度までに、阿寒湖のマリモ展示観察センターの魅力向上に向けた検討を進める。	釧路市、阿寒観光協会まちづくり推進機構		●	●	●	●	・これまでの研究によって得られた新たな知見を展示内容に反映させることについて検討中。 ・「マリモの保護と活用に関するプロジェクトチーム」において、阿寒湖のマリモ観察ガイドツアーの実施に向けた検討とあわせて、マリモ展示観察センター、阿寒湖畔エコミュージアムセンター、チュウライ島の役割と機能のあり方について検討中。 ・展示内容や展示環境とともに、バリアフリー、トイレ等のリニューアル、冬季利用の検討（冬季のマリモ生息地観察ツアーの拠点利用）等についても検討する。（阿寒観光協会まちづくり推進機構）
	2020（平成32）年度までに、双湖台園地の再整備等について検討を進める。	環境省、北海道、釧路市		●	●	●	●	・再整備に向けた情報収集等を実施中。
	2020（平成32）年度までに、前田公園の再整備等について検討を進める。	北海道、釧路市		●	●	●	●	・2017（平成29）年度中に、老朽化したトイレの撤去を実施。
	2020（平成32）年度までに、阿寒湖まりむ館の観光案内所における外国人利用者への観光情報提供サービスの充実化に向けた取組を行う。	釧路市		●	●	●	●	・現在、阿寒湖まりむ館の観光案内所における「JNTO認定外国人観光案内所」のカテゴリーを、現行のⅠ→Ⅱにすべく検討中。（カテゴリーⅡの主なサービス内容：少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐し、広域観光案内を提供。）
エ）その他	阿寒湖と周辺湖沼群の世界自然遺産認定に向けた活動を推進する。	釧路市	●	●	●	●	●	・世界遺産の国内候補地選定に向け、これまでに得られた研究成果を論文として発表するとともに、新たな知見を収集すべく研究グループの立ち上げを目指す。

＜オンネトー・雌阿寒岳＞									
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	進捗状況及び今後の予定	
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用									
a)公共施設等の民間開放	2020（平成32）年度までに、雌阿寒温泉園地及びオンネトー園地を中心として、雌阿寒岳等を含めた周辺地域の情報提供やガイドセンターの機能を担うインフォメーションセンター等の設置について、民間団体等による管理運営を含めた検討を行い、その結果を踏まえ取組を進める。	環境省、北海道、足寄町	●	●	●	●	●	・ 2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」にて、既存施設に係る課題を抽出中。2018（平成30）年度は、施設毎の役割について整理し施設整備方針を固めるとともに、管理運営体制について関係機関にて検討する。 ・ 2018（平成30）年、必要な施設整備について関係機関と協議を実施。	
b)上質な宿泊施設の誘致	2020（平成32）年度までに、オンネトー国設野営場の民間経営委託及びグランピングなど富裕層層もターゲットにした事業モデルを検討し、その結果を踏まえ取組を進める。	足寄町 等		●	●	●	●	・ 2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において、デイグランピングに係るイベント等の誘致を含め検討。 ・ 2018（平成30）年、キャンピングイベント誘致、受入の試行を実施。	
c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017（平成29）年度までに、オンネトー・雌阿寒岳において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●				・ 2018（平成30）年2月に、阿寒摩周国立公園（全体、各ビューポイント）における利用のあり方に関する全体構想をとりまとめ。 ・ 2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において、当地域のキャッチフレーズを「時の止まる湖 オンネトー」と定め、豊かな自然環境の中で過ごす静かな時間と多様な体験の空間の魅力をより多くの利用者に伝えるため官民協働で取り組む。	
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、雌阿寒温泉園地、オンネトー園地、国設野営場地区、雌阿寒岳、オンネトー湯の滝等において具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向けた検討を行う。	足寄町、あしよ観光協会 等		●	●	●	●	・ 2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において、2018（平成30）年度はツアーガイド育成事業やテストツアー等を実施予定。	
d)利用料等の公園管理への活用	2020（平成32）年度までに、雌阿寒温泉園地及びオンネトー園地等における駐車場利用に係る協力金の導入について検討する。	環境省、北海道、足寄町		●	●	●	●	・ 2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において検討中。今後も「オンネトー魅力創造委員会」にて、あり方について継続して検討を行う。	
イ) まちなみ等の景観改善	—								
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2020（平成32）年度までに、オンネトー園地及び雌阿寒温泉園地における再整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ再整備等を進める。	環境省、北海道、足寄町		●	●	●	●	・ 2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」にて、既存施設等に係る課題を抽出中。 ・ 2018（平成30）年度は、再整備の方針を固める。オンネトー茶屋の移設等について関係機関と協議中。	
	2018（平成30）年度までに、道道オンネトー線について、歩道帯の再整備を進める。	北海道		●	●			・ 2017（平成29）年度中に、再整備を予定したが、実施には至らず、今後の整備について検討中。	
	2020（平成32）年度までに、雌阿寒温泉園地における施設の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	足寄町			●	●	●	・ 2017（平成29）年5月に立ち上げた地域住民による「オンネトーの魅力創造委員会」において検討。結果を踏まえ、必要な看板改修等について整備を進める。 ・ 2018（平成30）年、雌阿寒岳登山道の防災看板を整備、公園外からオンネトーに至る案内看板の設置について検討を実施。	

<川湯温泉・硫黄山>						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
進捗状況及び今後の予定						
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用						
a)公共施設等の民間開放	2017（平成29）年度までに、川湯エコミュージアムセンターにおけるカフェやツアーデスクの併設など民間開放のあり方を検討する。	環境省	●	●		
b)上質な宿泊施設の誘致	2020（平成32）年度までに、川湯温泉街のまちなみ景観の改善手法の検討の一環として、富裕層層をターゲットとした宿泊施設の誘致の可能性についても検討を進める。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会		●	●	●
c)ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017（平成29）年度までに、川湯温泉・硫黄山において適切な利用を推進するためのあり方について、硫黄山の歴史や必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめ。	環境省	●	●		
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラム（川湯エコミュージアムセンター周辺や旧川湯スキー場跡地、硫黄山周辺等を活用した通年アクティビティー等）の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえて検討を行う。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部等		●	●	●
d)利用料等の公園管理への活用	2020（平成32）年度までに、硫黄山における駐車場利用に係る協力金について、硫黄山の魅力向上のための用途等を検討する。	自然公園財団川湯支部		●	●	●
イ) まちなみ等の景観改善	2020（平成32）年度までに、川湯温泉街のまちなみ景観について「森の中にある温泉街」をコンセプトとした改善手法（廃棄した宿泊施設及び土産店等の撤去方法を含む）を検討し、自然滞在型の温泉保養地（ネイチャーリゾート）への再生に取り組む。	環境省、北海道、弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会	●	●	●	●
						・弟子屈町を中心に地域関係者による打ち合わせを行い、川湯温泉街の再生に向けた各種取組について検討中。（再掲） ・川湯温泉街の景観改善に向けて、観光客の目線で現地踏査を実施。廃屋等の状況も確認。（阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会）（再掲） ・2017（平成29）年12月に廃屋撤去後の跡地利用に関し整備計画を策定。また、他の廃屋施設も撤去方法等について関係機関と調整を図りながら検討している。2018（平成30）年3月までに、撤去予定の廃屋1棟について土地と建物の所有権を整理。（弟子屈町） ・上記を踏まえ、2018（平成30）年度に、廃屋1棟の撤去計画と跡地整理計画を策定予定（環境省） ・温泉川の清掃、配管撤去に向け改善手法を検討し実施予定。（弟子屈町、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会） ・駐車場表示など、川湯温泉街の改善点について協議。（北海道、摩周湖観光協会） ・廃ホテル周辺の温泉川について、関係者による清掃について協議実施。（釧路振興局、摩周湖観光協会） ・川湯温泉の方向性に係る講演会及びヘルスツーリズムに係る研修会を川湯温泉で実施。（北海道）
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2017（平成29）年度までに、川湯集団施設地区の整備基本計画をとりまとめる。	環境省	●	●		
	2019（平成31）年度までに、以上の整備基本計画に基づき、川湯園地内の歩道の再整備、川湯エコミュージアムセンターの再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●
	2019（平成31）年度までに、つつじヶ原探勝路の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●
	2020（平成32）年度までに、道道屈斜路摩周湖畔線について、歩道の整備及び歩道柵の再整備を進める。	北海道	●	●	●	●

< 摩周湖 >											
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	進捗状況及び今後の予定			
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用											
a) 公共施設等の民間開放	2018（平成30）年度までに摩周第1展望台へのカフェの併設など民間開放のあり方を検討する。	環境省、北海道、弟子屈町、摩周湖観光協会		●	●			・ 摩周第1展望台について、関係者（環境省、北海道庁、弟子屈町、弟子屈町振興公社）で、展望台の再整備の方向性及びカフェスペースを含めたレストハウスのあり方について検討予定。			
b) 上質な宿泊施設の誘致	—										
c) ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017（平成29）年度までに、摩周湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省	●	●				・ 2018（平成30）年2月に、阿寒摩周国立公園（全体、各ビューポイント）における利用のあり方に関する全体構想をとりまとめ。			
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、摩周カルデラ北部外輪山及びその山麓域における利用のあり方を検討し、具体的なツアー・プログラムの開発を進める。	清里町、きよさと観光協会		●	●	●	●	・ 裏摩周展望台から神の子池までの区間について、トレイルルートを検討するための現地踏査を実施。			
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部等		●	●	●	●	・ ガイドを対象とした講習会について年間スケジュールを作成し、それを基にガイド育成を年6回開催（ヒグマ・アイヌ文化・リスクマネジメント・国立公園・ガイド論・火山・気象）。（弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会））（再掲） ・ 川湯温泉の方向性に係る講演会及びヘルスツーリズムに係る研修会を川湯温泉で実施。（北海道）			
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図る。	標茶町、中標津町、標茶町観光協会、なかしべつ観光協会、自然公園財団川湯支部等		●	●	●	●	・ 既存のロングトレイルについて、体験型のツアー・プログラムを実施。また、冬期間限定のプログラムも実施。（なかしべつ観光協会）			
d) 利用料等の公園管理への活用	2020（平成32）年度までに、摩周湖における駐車場利用に係る協力金について、摩周湖の魅力向上のための用途等を検討する。	自然公園財団川湯支部		●	●	●	●	・ 老朽化した施設の簡易な修繕や補修、施設の美化清掃及び維持管理を実施。 ・ 摩周第1展望台駐車場のチケットハウスの屋根・壁を塗装し景観を整える。2019（平成31）年に実施予定。			
イ) まちなみ等の景観改善	—										
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2020（平成32）年度までに、ア) a) の民間開放のあり方の検討状況を踏まえつつ、摩周第1展望台、摩周第3展望台、裏摩周展望台の再整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ再整備等を進める。	環境省、北海道、清里町、弟子屈町		●	●	●	●	・ 摩周第1展望台、摩周第3展望台、裏摩周展望台について、再整備の方向性及び利用のあり方について協議、検討中。（環境省、北海道、清里町、弟子屈町、弟子屈町振興公社）			
	2017（平成29）年度までに、摩周第一園地の公衆トイレの改修等を行う。	北海道	●	●				・ 2017(平成29) 年度に、公衆トイレの再整備を実施。			
	摩周岳や西別岳に至る登山道について、引き続き関係者の協力を得つつ維持管理等を行う。	環境省、標茶町、弟子屈町	●	●	●	●	●	・ 各登山道について、関係者の協力を得つつ維持管理等を実施。			
	2020（平成32）年度までに、神の子池周辺について観光客の利便性と環境保護の双方の観点を踏まえつつ、整備に向けて検討を進める。	清里町			●	●	●	・ 2019（平成31）年3月までに、神の子池周辺の整備基本計画をとりまとめ。			

<屈斜路湖>									
取組		実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)	進捗状況及び今後の予定	
ア) 多様なサービスの提供のための民間活用									
a) 公共施設等の民間開放	—								
b) 上質な宿泊施設の	—								
c) ツアー・プログラム開発とガイド育成	2017（平成29）年度までに、屈斜路湖において適切な利用を推進するためのあり方について、必要な施設の観点も含めた検討を進め、全体構想等としてとりまとめる。	環境省、弟子屈町	●	●					・ 2018（平成30）年2月に、阿寒摩周国立公園（全体、各ビューポイント）における利用のあり方に関する全体構想をとりまとめ。（環境省）
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、美幌峠の雲海のツアー・プログラムの開発・実施、ガイドの育成を図る。	美幌町、美幌観光物産協会		●	●	●	●		・ 2017（平成29）年度から美幌峠の雲海発生予測を実施し雲海の魅力を広く情報発信する。 ・ 2017（平成29）年度から美幌観光物産協会で行うマーケティング事業において、美幌峠のニーズ調査を行い、具体的なツアープログラムの実施に向けて検討を行う。
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、釧路川へのカヌーツアー、コタン地区におけるアイヌの思想・精神に沿ったツアー・プログラム等の開発・実施を図るとともに、利用者の多様なニーズに応えられるガイド育成を含めたガイド組織等の確立に向け、「てしかがスタイルのエコツーリズム推進全体構想」を踏まえつつ検討を行う。	弟子屈町、摩周湖観光協会、阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会、自然公園財団川湯支部等		●	●	●	●		・ 屈斜路湖畔の林道等を活用したロングトレイル（湖一周、川湯温泉～美幌峠）について、専門家や関係者を交え、現地調査等を行い最適な利用のあり方をやルート、維持管理の仕組みを検討中。（弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会））（再掲） ・ 観光客への案内対応の向上を図るため、ホテルの従業員が釧路川カヌーツアーを体験するなど、ガイドと民間宿舎の従業員と連携強化。（弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会））（再掲） ・ 川湯温泉街から屈斜路湖に流れる温泉川及び湯川の景観改善及びツアー・プログラムの検討に向けて現地踏査を実施。（阿寒摩周国立公園川湯地域運営協会）（再掲） ・ ガイドを対象とした講習会について年間スケジュールを作成し、それを基にガイド育成を年6回開催（ヒグマ・アイヌ文化・リスキーマネジメント・国立公園・ガイド論・火山・気象）。（弟子屈町（てしかがえこまち推進協議会））（再掲）
	2020（平成32）年度までに、以上の全体構想等を踏まえ、具体的なツアー・プログラムの開発・実施を図る。	津別町、小清水町、大空町、津別観光協会、小清水町観光協会、オホーツク大空町観光協会、自然公園財団川湯支部等		●	●	●	●		・ 屈斜路カルデラ外輪山（藻琴山～美幌峠～津別峠）のトレイルルートを検討中。（美幌地区三町広域観光協議会（美幌町、美幌観光物産協会、大空町、オホーツク大空町観光協会、津別町、津別町観光協会）） ・ 2018（平成30）年5月3日、津別峠～美幌峠間の縦走踏査を実施。 ・ 2018（平成30）年6月、藻琴山周辺実地踏査予定 ・ 2018（平成30）年8月、美幌峠周辺実地踏査予定 ・ 2018（平成30）年9月、ロングトレイル先進地の視察研修を実施する予定。 ・ 2018（平成30）年10月、ロングトレイル研修会を実施する予定。 ・ 2019（平成31）年2月、ロングトレイルモニターツアーを実施する予定。 〔以上、美幌地区三町広域観光協議会〕
d) 利用料等の公園管理への活用	—								
イ) まちなみ等の景観改善	—								
ウ) 質の高い利用環境を提供するための施設整備等	2017（平成29）年度までに、和琴集团施設地区の整備基本計画をとりまとめる。	環境省	●	●					・ 2018（平成30）年3月に、和琴集团施設地区の整備基本計画をとりまとめ。
	2019（平成31）年度までに、以上の整備基本計画に基づき、和琴園地内の歩道やキャンプ場の再整備、多言語に対応した解説看板や標識の整備等を行う。	環境省	●	●	●	●			・ 2018（平成30）3月に、和琴園地内の2箇所のトイレについてユニバーサルデザインに対応した改修を実施。 ・ 和琴園地内の歩道、解説看板及び標識類の再整備を検討中。 ・ 和琴野営場におけるグランピング導入の可能性について検討を進める。
	2017（平成29）年度までに、砂湯野営場の再整備等を行う。	北海道	●	●					・ 2017(平成29) 年度中に、公衆トイレ（4箇所）、炊事場等の再整備を実施。
	2017（平成29）年度までに、美幌峠園地の再整備等を行う。	北海道	●	●	●				・ 2017（平成29）年度に、公衆トイレ等の再整備を実施。 ・ 2018（平成30）年度中に、園路等の再整備を予定。
	2018（平成30）年度までに、屈斜路カルデラ外輪山に位置し、阿寒摩周国立公園のエントランスとしても重要な「道の駅ぐるとパノラマ美幌峠」のレストハウスにおいて、多言語に対応した解説看板や標識、情報発信のための情報端末機器等の整備を行う。また、美幌峠の景観を楽しみながら休憩できる環境の整備を行う。	美幌町		●	●				・ 2017（平成29）年度にレストハウス2階の改修を実施。 ・ 多言語に対応した解説看板や標識の設置の他、美幌峠の魅力を情報発信するための施設整備を行う。
	2020（平成32）年度までに、コタン地区における公衆トイレの改修等について検討する。	弟子屈町		●	●	●	●		・ 今後、検討予定。
	2020（平成32）年度までに、釧路川へのカヌー利用の状況等を踏まえ、スタート地点となる釧路川源流部における整備等のあり方を検討し、その結果を踏まえ整備等を進める。	弟子屈町、摩周湖観光協会等	●	●	●	●	●		・ 釧路川へのカヌー利用の状況等を踏まえ、スタート地点となる釧路川源流部における整備等のあり方について、今後カヌー事業者や屈斜路道正利用推進協議会とも連携し検討する。
	2017（平成29）年度までに、藻琴山東斜面野営場の再整備等を行う。	小清水町		●					・ 2017（平成29）年度に藻琴山東斜面野営場（ハイランド小清水キャンプ場）の改修を実施。
	2017（平成29）年度までに、藻琴山八合目園地の再整備等を行う。	北海道、小清水町		●	●				・ 2017（平成29）年度に藻琴山八合目園地（ハイランド小清水7.2.5）の改修を実施。 （小清水町） ・ 2018（平成30）年度までに、藻琴山八合目園地広場、園路等の再整備等を行う。（北海道）

＜プロモーション＞						
取組	実施主体	2016年度 (平成28)	2017年度 (平成29)	2018年度 (平成30)	2019年度 (平成31)	2020年度 (平成32)
2016（平成28）年度までに、日本の国立公園を魅力的なコンテンツとして全世界に発信するためのブランディング戦略（仮称）を策定するとともに、そのブランドイメージを視覚化するための国立公園マーク（仮称）を作成する。	環境省	●				
2017（平成29）年度までに、以上のブランディング戦略（仮称）等を踏まえ、阿寒摩周国立公園におけるインパウンドの増加を図るためのプロモーション戦略（仮称）をとりまとめる。	環境省	●	●			
2017（平成29）年度までに、以上のブランディング戦略（仮称）及びプロモーション戦略（仮称）等を踏まえ、阿寒摩周国立公園の魅力等を情報発信するためのプロモーション動画を作成し、ターゲットへの訴求力の高い海外メディア等を活用したプロモーションを行う。	環境省	●	●			
2020（平成32）年度までに、以上のブランディング戦略（仮称）及びプロモーション戦略（仮称）等を踏まえ、広域観光周遊ルート事業やビジット・ジャパン事業、道東エリアの国立公園（知床、釧路湿原）、国立公園区域外の利用拠点等とも連携し、具体的なプロモーション（日本政府観光局（JNTO）等と連携したプロモーション、ファムトリップ、外国人利用者の視点に立ったガイドブックの作成やホームページの開設・更新、外国人を含めた利用者向けのプロジェクションマッピング等）を進める。	環境省、国土交通省、経済産業省、北海道、北海道観光振興機構、阿寒摩周国立公園広域観光協議会		●	●	●	●

・環境省本省において、ブランディング戦略をとりまとめ中。

・環境省本省において、2017（平成29）年7月に国立公園マークを発表。今後、発表された国立公園マークの使用マニュアルを作成予定。

・環境省本省で検討中のブランディング戦略を踏まえ、2018（平成30）年2月に、阿寒摩周国立公園プロモーション戦略をとりまとめ。

・阿寒摩周国立公園のプロモーション動画を作成し（2017（平成29）年3月）、海外旅行者向けサイト（以下）やSNS（国立公園FaceBook）において情報発信。

【Japan Travel.com】
<http://en.japantravel.com/hokkaido/akan-national-park/36704>

【Club Tourism YOKOSO Japan Tour】
<http://www.yokoso-japan.jp/en/feature28.html>

・2018（平成30）年3月、動画投稿サイト（You Tube）阿寒摩周国立公園専用チャンネルを作成。今後、外国人向けにアクティビティ等の情報発信を実施予定。

・2017（平成29）年9月に、一般社団法人国内旅行業協会（JATA）国内旅行推進委員会を招いて阿寒摩周国立公園のファムトリップを実施。また、12月及び1月に、阿寒摩周国立公園の冬季利用を対象としたファムトリップを実施。その成果を踏まえ、2018（平成30）年2月に、首都圏で開催された情報交換会においてプロモーションを実施。2018（平成30）年度もファムトリップを実施するほか、今後、道東エリアの国立公園（知床、釧路湿原）と連携したプロモーションを実施予定（環境省）。

・2017（平成29）年度に、環境省本省で開設中の「国立公園ウェブサイト」に阿寒摩周国立公園の利用に関するコンテンツを追加（環境省）。

・阿寒湖畔の森林におけるアイヌの神話等をテーマとするデジタルアートを、夜の森を舞台とした体験型テーマパークとして現在談話について検討中。（阿寒観光協会まもづくり推進機構）（再掲）

・2017（平成29）年6月に設立の「北海道アドベンチャートラベル協議会」と連携し、ビジット・ジャパン地方連携事業等を活用して、WEBサイトの構築、旅行会社、メディアによるファムトリップ、Adventure Travel World Summit への参加等、戦略的なプロモーション等を実施。（国土交通省）

・AT市場の更なる獲得を目指し、阿寒を中心としたエリアATマーケティング戦略を策定。他エリアにも戦略を周知し、今年度もネットワーク・機運醸成に向けたアドベンチャーコネクトの開催や、Adventure Travel World Summitへの参加を通じ北海道の魅力PR。（経済産業省）

・ファムトリップの実施、外国人をターゲットとした、英語HPの開設、訪日外国人向けパンフレットの制作、事業者向け素材集制作し、2017（平成29）年度は旅行関連事業者に対しプロモーションを実施。（阿寒摩周国立公園広域観光協議会）

National
Parks
of Japan



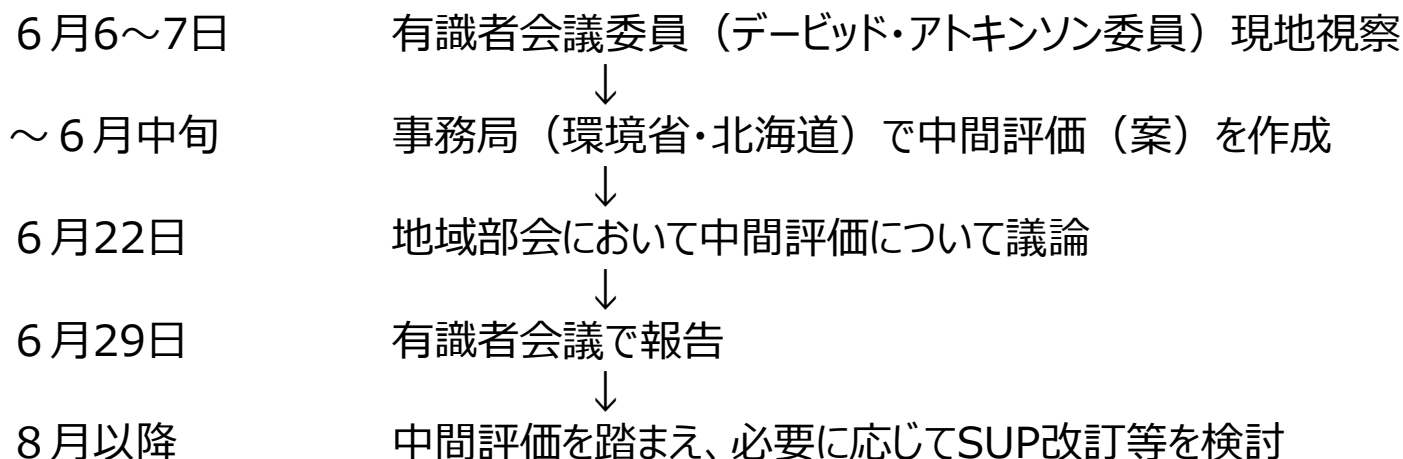
阿寒摩周国立公園 満喫プロジェクト 中間評価（案）

阿寒摩周国立公園における中間評価の進め方

評価方法

- ✓ **量の指標による評価 / 質の指標による評価 / 取組進捗評価**を組み合わせで点検・評価する。
- ✓ **量の指標による評価**は、国立公園の訪日外国人利用者数等を用いて行う。
- ✓ **質の指標による評価**は、国立公園の訪日外国人利用者の満足度調査とその分析結果を用いて行う。
- ✓ **取組進捗評価**は、ステップアッププログラム（以下「SUP」）に記載されている目標・施策のうち、訪日外国人利用者の増加など、特に進捗が見られた取組について個別にとりあげて行う。
- ✓ **有識者会議委員による現地視察結果**も中間評価に反映する。

スケジュール



阿寒摩周国立公園における中間評価に用いる指標

- 量 { (1) 国立公園の訪日外国人利用者数 (推計)
- 質 { (2) 国立公園の訪日外国人利用者の満足度 (アンケート結果)
- 取組進捗 { (3) SUP記載取組等の進捗 (自己評価)

有識者会議委員からの
指摘事項

訪日外国人に関する
各種利用データ

今後重点的に取り組むべき分野の抽出
(有識者会議への報告案)

(1) 国立公園の訪日外国人利用者数（推計）

単位：万人

		全公園	8公園全体	阿寒摩周	八十幡和平	日光	伊勢志摩	大山隠岐	くじゅう阿蘇	錦霧島江湾	慶良間諸島
2017年 訪日外国人国立公園利用者数		600.1	147.9	5.7	1.9	27.1	7.6	1.1	92.6	12.9	-
	標本数	7,625	2,336	60	18	362	76	14	1,679	136	-
	標準誤差率	1.0%	2.1%	11.2%	19.5%	5.1%	9.7%	25.5%	2.7%	7.4%	-
参考	2016年 訪日外国人国立公園利用者数	545.7	114.9	5.8	2.2	24.1	6.1	1.4	67.5	7.9	-
	2015年 訪日外国人国立公園利用者数	490.2	105.2	6.3	0.7	19.0	3.3	0.6	68.2	7.1	-
	2014年 国立公園利用者数 (日本人を含む)	35,218	7,912	360	474	1,609	887	1,341	2,050	1,171	20

（推計値についての注意点）

- 国立公園実利用者数は、当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても1人と数える。
- 慶良間諸島は、訪日外国人消費動向調査の訪問地選択肢コードに該当する地点が無いため、実利用者数は推計対象外（2018年データより対象）。
- 8公園全体とは、8公園のうちいずれか1つ以上の公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が8公園内の複数公園を利用しても1人と数える。
- 標準誤差率が30%以上の公園については、サンプル数が少なく信頼性が低いので、参考値とする。
- 標準誤差率とは、全訪日外国人に調査が出来た場合に得られるはずの値の存在範囲を示す目安である。
推定値を中心として、その前後に標準誤差の2倍の幅を取れば、その区間内に真の値があることが約95%の確率で期待される。

- 2017年訪日外国人国立公園利用者数は、推計で約600万人（前年比10.0%増）。
- うち8公園は約148万人（前年比29%増）。
- 阿寒摩周国立公園は約5.7万人（前年に続き減少）。

(1) 阿寒摩周国立公園の訪日外国人利用者数の国籍別比率

	2015	2017
阿寒摩周	63千人	57千人 (9.5%減)
うちアジア	62千人 (98.4%)	54千人 (94.2%)
台湾	36千人 (57%)	25千人 (43%)
中国	19千人 (30%)	19千人 (34%)
香港	6千人 (10%)	4千人 (7%)
韓国	1千人 (2%)	2千人 (3%)
その他	0千人 (0%)	4千人 (6%)
うち欧米豪州	1千人 (1.6%)	3千人 (5.8%)

(推計値についての注意点)

- 国立公園実利用者数は、当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用しても1人と数える。
- 本推計値は、観光庁「訪日外国人消費動向調査」の調査票情報を利用し、推計したもの。「訪日外国人消費動向調査」は、国籍・地域毎に回収目標数の抽出率が異なるため、母集団構成に合わせることを目的として四半期別および国籍・地域別ウェイトバック集計を行った。
- 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- 阿寒摩周国立公園は約5.7万人(2年間で9.5%減少)
- ただし、欧米豪系外国人は3倍に増加

(2) 国立公園の訪日外国人利用者の満足度（アンケート結果）①

滞在全体の満足度

	日本人 n=63	外国人 n=152	8公園平均 n=1031
1 大変満足	34.9%	35.5%	38.7%
2 満足	42.9%	50.7%	49.8%
3 やや満足	9.5%	10.5%	7.4%
4 普通	4.8%	2.0%	3.5%
5 やや不満	6.3%	0.0%	0.2%
6 不満	0.0%	0.0%	0.1%
7 大変不満	1.6%	1.3%	0.4%

個別満足度

	日本人 n=63	外国人 n=152	8公園平均 n=1031
自然景観	6.28	6.41	6.45
宿泊施設	5.80	6.04	5.98
宿泊施設以外の食事	5.54	5.87	5.85
ビジターセンター	5.32	5.97	6.00
現地ツアー・プログラムの内容	5.50	5.94	5.88
主要駅等からの交通案内版・標識	5.04	5.81	5.81
遊歩道・展望台などの整備状況	5.26	5.92	5.95
パンフレットやスタッフの外国語対応		5.83	5.62
お土産の内容	5.38	6.10	5.74
サービス全般	4.92	5.89	
観光等の情報の収集・活用のしやすさ	4.94	5.84	

平成29年度「国立公園満喫プロジェクト」推進業務

・調査主体：環境省自然環境局国立公園課

・調査期間：平成29年9月1日～平成30年2月19日

・調査方法：モバイル機器から特設サイトにアクセスして回答、現地留め置き紙調査票、調査員による聞き取り

・調査対象：18歳以上の男女（日本人、外国人（英語・韓国語・繁体字・簡体字を用意））

- ・ 阿寒摩周国立公園の満足度は8公園平均よりやや低い
- ・ 個別満足度では、「お土産の内容」「パンフレットやスタッフの外国語対応」に対する満足度はやや高いが、「自然景観」や「ビジターセンター」については他の公園と同等の評価

(2) 国立公園の訪日外国人利用者の満足度（アンケート結果）②

支出額

単位:円

	8公園平均 n=955	外国人 n=158	日本人 n=64
宿泊費	19,780	25,111	15,273
飲食費	14,830	16,408	7,383
交通費	8,722	11,123	4,102
自然体験費	7,958	10,190	3,359
他娯楽費	6,504	7,294	1,250
買い物代	15,095	16,551	2,461
その他	4,425	6,772	391
	77,314	93,449	34,219

宿泊数

単位:泊

	8公園平均 n=1031	外国人 n=156	日本人 n=64
国立公園内	1.3	1.8	1.6
周辺含む	2.8	5.4	2.5

リピーター率

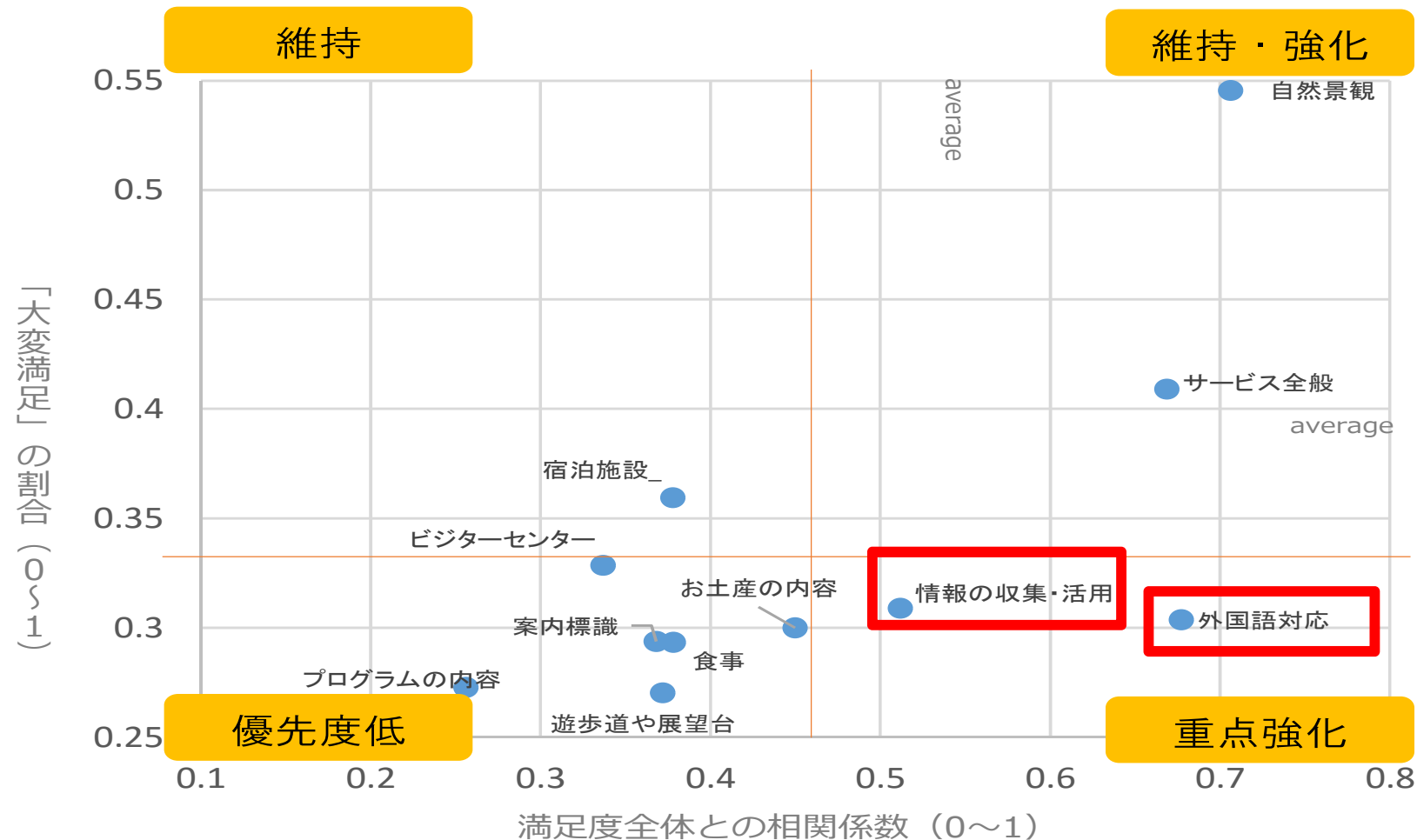
	8公園平均 n=1031	外国人 n=156	日本人 n=64
2回目	16%	5%	79%
3回目～	8%	1%	67%

平成29年度「国立公園満喫プロジェクト」推進業務

- ・調査主体：環境省自然環境局国立公園課
- ・調査期間：平成29年9月1日～平成30年2月19日
- ・調査方法：モバイル機器から特設サイトにアクセスして回答、現地留め置き紙調査票、調査員による聞き取り
- ・調査対象：18歳以上の男女（日本人、外国人（英語・韓国語・繁体字・簡体字を用意））

- ・ 国立公園及びその周辺での宿泊数は8公園平均を上回る
- ・ 国立公園における支出額も8公園平均を大きく上回る（特に宿泊費、交通費）
- ・ 一方、リピーター率は8公園平均を大きく下回る

(2) 国立公園の訪日外国人利用者の満足度との相関係数



- 上部に位置するほど、現状における満足度が高い。また、右部に位置するほど、全体の満足度との相関が高い（評価が高いと全体の満足度の高い傾向になる、逆も同様）。
- 上記は満足度の傾向を分析しているもので、全体満足度を向上させる上で優先順位の高い項目を示しているが、地域で施策を決定する際には満足度以外にも総合的・戦略的に判断して施策を決定することが重要となる。

(参考) 阿寒摩周国立公園の改善意見 (アンケート結果)

平成29年度「国立公園満喫プロジェクト」推進業務より

※サンプルの多くが冬期間に取られたものであることに留意が必要

※自由意見を分類して整理したもの

(交通について : 5 件)

- ・ 個人旅行者のレンタカー以外での移動手段が不便。アクセスに関する情報もわかりにくい。
(中国／男性30代／阿寒／満足)
- ・ もっと公共交通機関を充実してほしい。パッケージタクシーなどの導入はどうか。
(台湾／女性30代／阿寒・弟子屈／大変満足)
- ・ 循環バスが止まらずアクセスがうまくいかない。冬の寒い時期は非常にストレスがたまる。
(台湾／女性20代／阿寒／満足) 等

(外国語対応について : 10 件)

- ・ もっと英語の標識を増やしてほしい。ごみの分別の仕方を理解していない人が多い。
(オーストラリア／女子60代／阿寒・弟子屈／大変満足)
- ・ 売店やホテル内の中国語の翻訳がかなり間違っている。(中国／女性20代／阿寒・弟子屈／大変満足)
- ・ 英語の文章の質やハイキングトレイルマップの改善。(アメリカ／男性30代／阿寒・弟子屈／大変満足) 等

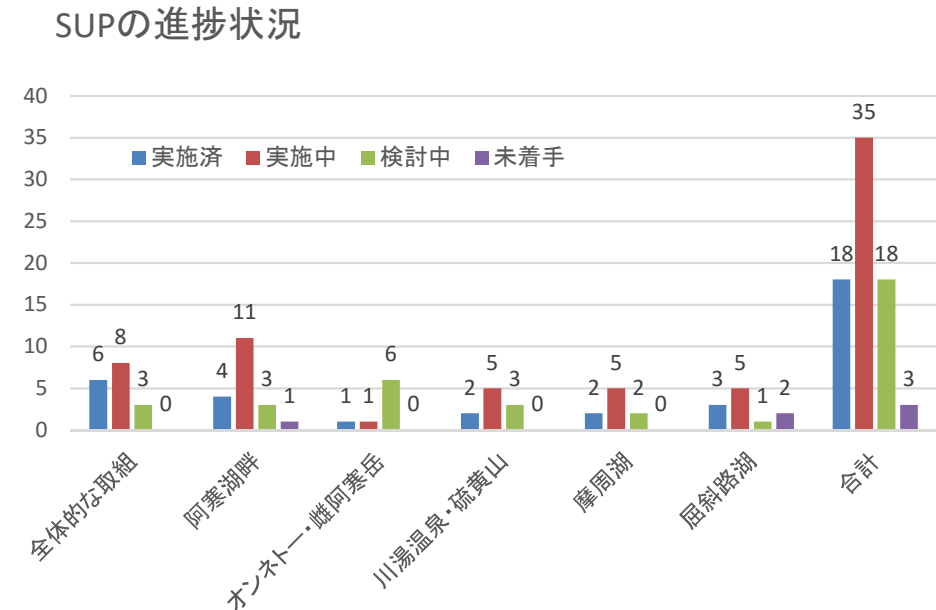
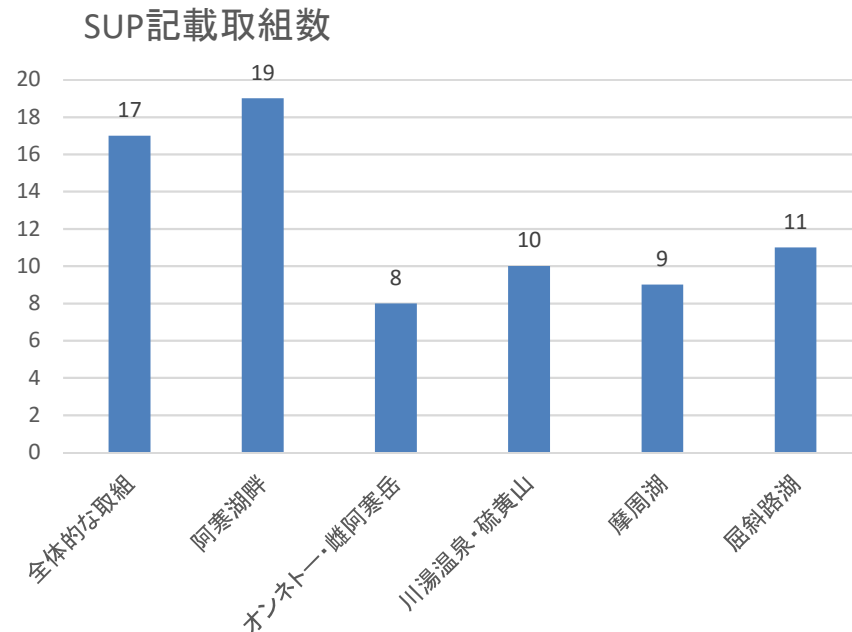
(情報発信について : 4 件)

- ・ アイヌミュージアムが閉まっているという情報を事前に得られなかった。
(中国／男性30代／阿寒・弟子屈／大変満足) 等

(その他)

- ・ 外貨の両替ができない。クレジットカードを利用できる場所を増やしてほしい。
(中国／男性30代／阿寒・弟子屈／満足) 等

(3) SUP記載取組等の進捗（自己評価）



- SUPに記載された取組は74件 ※改定前
- これのうち、取組終了が18件（24%）、取組中が35（47%）、検討中が18件（24%）、未着が3件（4%）
- SUP記載の取組は概ね順調に進展しているものと思料

(参考) 訪日外国人に係る各種利用データ①

市町村別・国別訪日外国人宿泊者数（人）

※北海道資料

		釧路市			うち旧阿寒町			標茶町			弟子屈町			白糠町			足寄町		
	宿泊客数（人）	138,511			120,927			263			15,063			7			21		
H27年度	内訳（アジア／欧米豪／その他）	131,913	3,894	2,704	116,880	2,325	1,722	205	47	11	13,807	1,005	251	3	2	2	8	4	9
	宿泊客数（人）	147,639			121,364			162			23,705			61			63		
H29年度	内訳（アジア／欧米豪／その他）	135,432	5,937	6,270	113,873	3,005	4,486	113	24	25	19,945	1,813	1,947	61	0	0	59	1	3

		美幌町			津別町			清里町			小清水町			大空町			中標津町		
	宿泊客数（人）	50			508			415			205			159			1,624		
H27年度	内訳（アジア／欧米豪／その他）	34	12	4	439	44	25	355	27	33	133	45	27	51	39	69	1,095	489	40
	宿泊客数（人）	94			370			589			6			169			2,374		
H29年度	内訳（アジア／欧米豪／その他）	53	33	8	327	34	9	484	58	47	4	2	0	130	39	0	1,625	747	2

		11市町合計		
	宿泊客数（人）	156,826		
H27年度	内訳（アジア／欧米豪／その他）	148,043	5,608	3,175
	宿泊客数（人）	175,232		
H29年度	内訳（アジア／欧米豪／その他）	158,233	8,688	8,311

	11市町合計 （H29/H27比） [%]		
宿泊客数	112		
アジア／欧米豪／その他	107	155	262

(参考) 訪日外国人に係る各種利用データ②

川湯エコミュージアムセンターにおける外国人利用者数

- ・外国人利用者は1.2倍に増加
- ・アジア系は1.02倍に対して、欧米豪系は1.38倍

2015年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アジア	0	13	20	94	46	16	27	26	19	25	75	14	375
欧米豪	5	15	30	58	84	26	32	9	7	1	12	1	280
ヨーロッパ	5	10	19	42	80	24	17	5	5	1	7	1	216
北米	0	4	8	10	1	2	5	0	0	0	1	0	31
オセアニア	0	1	3	6	3	0	10	4	2	0	4	0	33
その他	0	6	8	11	6	1	3	0	0	0	6	2	43
南米	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
アフリカ	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
不明	0	6	8	10	6	0	1	0	0	0	6	2	39
計	5	34	58	163	136	43	62	35	26	26	93	17	698

2017年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アジア	1	21	33	107	63	33	50	22	10	7	28	7	382
欧米豪	15	23	54	64	104	46	37	0	1	5	26	12	387
ヨーロッパ	15	17	32	43	95	35	24	0	1	2	25	5	294
北米	0	4	12	13	3	9	2	0	0	0	1	7	51
オセアニア	0	2	10	8	6	2	11	0	0	3	0	0	42
その他	17	18	33	10	4	0	18	4	3	2	6	0	115
南米	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	17	18	33	10	4	0	18	0	3	2	6	0	111
計	33	62	120	181	171	79	105	26	14	14	60	19	884

(参考) 訪日外国人に係る各種利用データ③

阿寒エアポートライナー試験運行

■事業主体

(特非)阿寒観光協会まちづくり推進機構

■実証期間

平成29年7月～平成30年2月

■実証ルート

釧路空港～阿寒湖温泉(1日2便)

■事業費

(一財)空港環境整備協会及び釧路市が助成

■利用実績

- ・乗客数 3,631人
(うち、インバウンドは1,371人(36.3%))
- ・1便あたりの平均乗客数 3.74人
(うち、インバウンドは1.35人)

※平成30年2月の利用実績

- ・乗客数 1,286人
(うち、インバウンドは625人(48.6%))
- ・1便あたりの平均乗客数 11.48人



National
Parks
of Japan



阿寒摩周国立公園 満喫プロジェクト ＜中間評価 報告案＞

阿寒~~摩周~~国立公園 満喫プロジェクト進捗状況

赤字は実施済の取組

火山と森と湖が織りなす原生的な自然を堪能する

(数値目標) ～ 訪日外国人利用者数 6.3万人(2015年) → **15万人(2020年)** ～

H29.8 公園名変更

特徴①

原生的な自然で過ごす「上質な時間」

眺望や居心地のよい宿泊施設、展望施設、カフェでの滞在、それぞれ特色の異なる温泉での保養など、原生的な自然の魅力を実感しながら上質な時間を過ごす

-  H30夏の川湯エコミュージアムセンターへの民間カフェ導入(試行)を目指し、内部改修工事を実施中
-  阿寒湖畔における富裕者層をターゲットとした宿泊施設の誘致に向け、地元市及び民間において検討着手
-  川湯温泉街の再生に向け、地元町において再整備計画を策定。環境省において、廃屋1棟の撤去を含めた跡地整理に向け、H30から基本設計業務に着手

特徴②

原生的な自然の「新たな活用」

カヌーやトレッキング、バードウォッチングなど、原生的な自然への新たなアプローチも含めたローインパクトなアクティビティを通じ、自然の雄大さやパワー、生きもののたくましさ直接ふれる

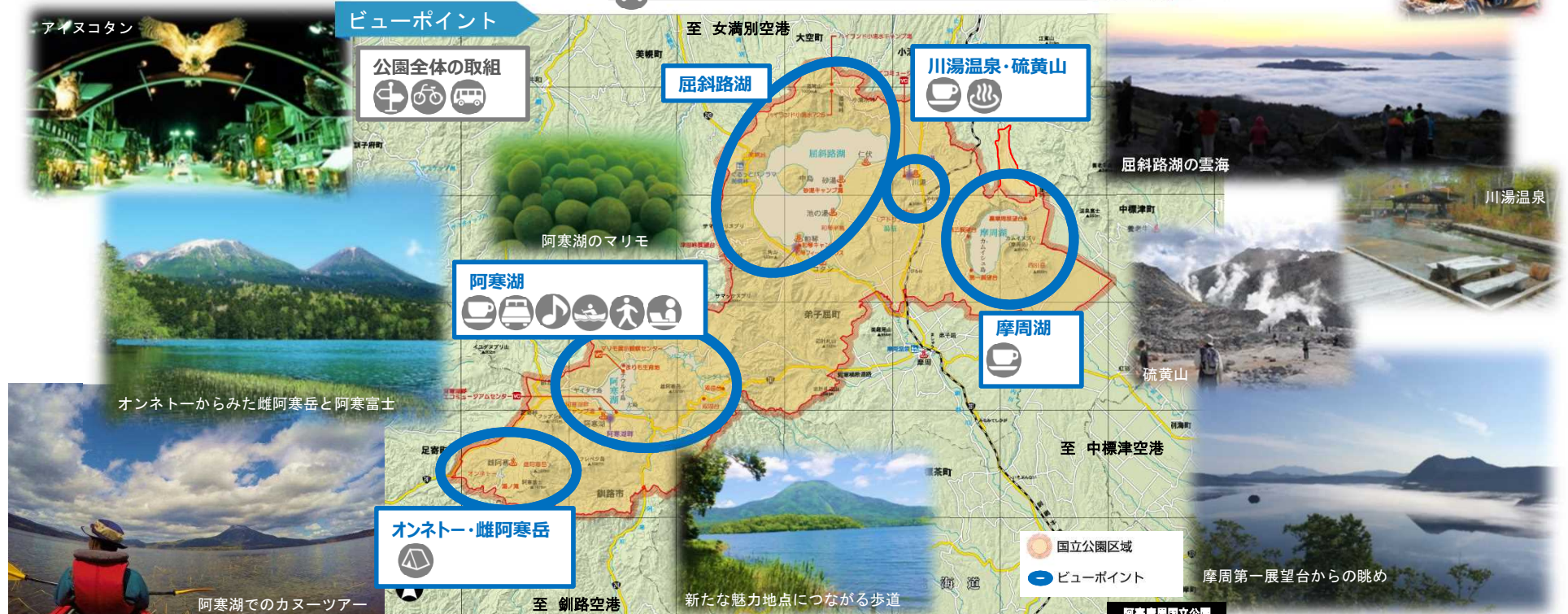
-  マリモ観察ガイドツアー実施に向けて、地元関係者や研究者からなるPTを設置(H29.7)し検討を開始。H30夏以降にツアー試行開始予定
-  阿寒湖南岸における新たな歩道(H32整備予定)や雲海が楽しめる歩道の再整備(H29整備)など、**上質な利用のための施設整備の推進**
-  オンネトー湖岸の静かな環境を生かしたガイドツアー、キャンプ等利用形態の拡充(H32)等、個人旅行客の受入環境整備に向けた検討を開始
-  地域の魅力を生かしたロングトレイルの設定に向けた検討を開始
-  日本旅行業協会等と連携し、**ファミリーツアー**を実施(H29年度に3回)

特徴③

「アイヌ文化」の体感

古くから伝わるアイヌの祭事や伝統文化など、我が国の先住民族であるアイヌの文化を体感する

-  観光庁との連携の下、阿寒湖温泉において「**アイヌアートまちなかミュージアム**」を推進中
-  アイヌ文化を基調とした夜のデジタルアートイベントの開催(H31から)



阿寒摩周国立公園 満喫プロジェクト 中間評価

目標の達成状況

利用者数の目標達成に向け、加速化が必要

●総評

ステップアッププログラム2020に記載された74の取組のうち、取組終了が24%、取組中47%、検討中24%、未着手4%となっており、取組自体は順調に進捗。

ただし、利用者アンケートや有識者からは多言語対応の充実、情報提供の分かりやすさを求める意見や指摘あり。

●訪日外国人国立公園利用者数(2020年目標 15万人)

2015年	2016年	2017年
6.3万人	→ 5.8万人	→ 5.7万人
(8.9%)	(10.2%)	(11.2%)

() は標準誤差

●その他SUPで独自に定めた目標

阿寒摩周国立公園及び周辺地域における旅行消費額の向上

○質の指標(平成29年度)

- 国立公園での訪日外国人旅行消費額：93,449円
- 外国人平均宿泊日数(公園内)：1.8泊
- 外国人平均宿泊日数(周辺含む)：5.4泊
- 国立公園での外国人リピーター率(2回目～)：5%
- 国立公園での外国人リピーター率(3回目～)：1%
- 満足度 大変満足：35.5%、満足：50.7%
やや不満、不満、大変不満：1.3%

これまでの成果

関係11市町において外国人宿泊者数が1.12倍に増加 特に、欧米豪系外国人宿泊者数は1.55倍に増加

※H29年度とH27年度の比較

●エコミュージアムセンターの改革(Wi-Fi導入、映像展示改修)

川湯エコミュージアムセンターを訪れる外国人旅行者は1.2倍に増加
特に、欧米豪系外国人は1.38倍に増加

●オンネトー・雌阿寒岳地区の魅力創造

環境省、北海道、足寄町が事務局となり、住民主体の「オンネトーの魅力創造委員会」を設立し、オンネトー野営場を中心に当地の魅力発信について議論を深化中

●アイヌアートまちなかミュージアム構想の推進

阿寒湖畔エコミュージアムセンターにおける展示を含め、阿寒湖温泉街全体でアイヌアートの活用を推進中。また、アイヌ文化を活かした景観形成を推進するため、地域で丸となって取り組むべきことをまとめた「アイヌ文化を活かした景観デザインの手引き」を作成

●2次交通の充実

阿寒エアポートライナー(釧路空港～阿寒湖温泉を結ぶバス)の実証運行では、期間中3,631人の利用者があり、うち外国人利用者は1,371人(全体の36.3%)

加速化・強化が必要な取組

利用拠点をストレスフリーな空間に

アンケート調査の結果から、多言語対応、情報の収集・活用のしやすさについて、取組を優先することが満足度の向上に有効であることが示唆。また、関係機関・団体との連携強化も不可欠

●多言語表記の充実

川湯エコミュージアムセンターや阿寒湖畔エコミュージアムセンターをはじめとする国立公園内の主たる利用拠点においてライター書き下ろしによる多言語表記の充実

●快適な利用環境の創出

利用者目線による案内誘導標識、眺望方向を考慮した休憩施設、エコミュージアムセンター内のコミュニティスペースの整備などによる利用環境の向上

●連携強化

アドベンチャートラベルマーケットへの参入や効果的なプロモーションの実施、2次交通の更なる充実等に向けた関係機関・団体との連携の強化



川湯エコミュージアムセンターの民間開放



オンネトー野営場



アイヌコタン



阿寒エアポートライナー

阿寒摩周	個別目標	2016	2017	2018	2019	2020
訪日外国人 国立公園 利用者数（万人）		利用者数 5.8	利用者数 5.7			利用者数 15
特徴① 原生的な自然 で過ごす 「上質な時間」	2019年 川湯エコミュージアムセン ター（EMC）併設カフェ本 格開業 2019年 川湯EMCツアーデスク設置 2020年 先行地域での廃屋撤去	阿寒湖畔エコミュージアムセン ター（EMC）・カフェ導入に 向けたくろぎ空間造成 	阿寒湖畔EMC・コーヒー提供方法の検討 川湯EMC・カフェ導入に 向けた地元調整 川湯温泉地区再整備 計画策定（弟子屈町）	阿寒湖畔EMC・コーヒー等の提供 内部 改装 カフェ試験導入、ツア ーデスク機能試験導入 廃屋ホテル1棟の権利制 限整理・譲渡、撤去計 画・跡地整備策定	カフェ本格導入、 ツアーデスク機能導入 廃屋ホテル1棟の撤去及び園地整備	カフェ本格導入、 ツアーデスク機能強化 阿寒湖畔におけるホテル誘致について地元検討
特徴② 原生的な 自然の 「新たな活用」	2020年 オンネトー野営場等におけ るガイドツアー、キャンプ 等利用形態の拡充 2019年 環境協力金上乘せマリモ関 連ツアー本格開始 2020年 阿寒湖畔歩道（ボッケ～滝 口）整備完了	  写真提供：スノーピーク  	ファムトリップ オンネトー地区全体の利用 のあり方について方針策定 和琴半島野営場 グランピング導入可能性検討 マリモの利用のあり方につ いて方針策定 阿寒湖畔歩道（ボッケ～ 滝口）環境調査	ファムトリップやアンケート調査結果等を踏まえたコンテンツ磨き上げ 地元主体の キャンプイベント等の誘致 保全協力金上乘せツアー の試験開始 阿寒湖畔歩道（ボッケ～ 滝口）基本設計	ツアー等の本格実施及び受入体制の整備 検討結果を踏まえた更なる展開 マリモ関連ツアーの本格実施、保全協力金の生息状況調 査及び普及啓発活動等への活用 阿寒湖畔歩道（ボッケ～ 滝口）実施設計	阿寒湖畔歩道（ボッケ～ 滝口）整備・供用開始
特徴③ 「アイヌ文化」 の体験	2019年 阿寒湖温泉でのアイヌ文化 を基調としたデジタルア ートイベント（ナイトフォ レストミュージアム）開催 2017年 阿寒湖畔EMC展示改修完了	 	「アイヌアートまちなかミュージアム」推進 @ 阿寒湖温泉 アイヌ文化を基調とした夜のデジタルアートイベント開催 に向けた地元調整・開催準備 @ 阿寒湖温泉 阿寒湖畔EMC展示改修 （アイヌ展示含む）	アイヌ文化を基調とした夜のデジタルアートイベント開催 @ 阿寒湖温泉	アイヌ文化を基調とした夜のデジタルアートイベント開催 @ 阿寒湖温泉	